

日交研シリーズ A-715

平成 29 年度共同研究プロジェクト

道路課金による大型車交通マネジメントに関する研究

刊行：2018 年 6 月

維持更新時代の道路課金と大型車交通マネジメント

Road Charging Policies and Large Vehicle Transportation Management

for Sustainable Maintenance and Renewal

主査：根本 敏則（敬愛大学教授）

Toshinori NEMOTO

要 旨

諸外国で導入されつつある大型車対距離課金には、道路利用量に応じて負担を求めるとい
う利用者（受益者）負担原則の徹底、さらにその他の混雑・環境外部不経済を課金額に反映
させ、より外部不経済の少ない路線へ交通を誘導するという交通需要管理の方法としても期
待されている。

本研究プロジェクトの目的は、①大型車対距離課金、大型車交通マネジメントに関する諸
外国の最新動向の把握、②大型車対距離課金、大型車交通マネジメントを支える技術開発動
向、標準化作業の進展状況の把握、③わが国において課金などによる大型車マネジメントを
導入する際の課題の整理をすることである。

本報告書はマルチレーン・フリーフロー課金および大型車に関し ETC と WIM の統合を目
ざしている韓国高速道路の紹介（第 1 章）、大型車の走行に伴って生じる舗装の維持管理費
用・床板の大規模更新費用の増加、およびそれを反映した料金を試算した研究（第 2 章）、貨
物車の対距離課金制度の導入効果の測定など、大型車課金に関する文献サーベイ（第 3 章）
についてとりまとめたものである。

キーワード：道路課金、インフラ財源調達、対距離課金、利用者・汚染者大型車負担、電子
料金收受システム、大型車

Keywords : Road Charging, Infrastructure Financing, Distance-Based Charge, User and Polluter
Pay Principles, Electronic Toll Collection, Large Vehicle